

添削指導を受ける手順について

2023.5.27

白亜の会 論作文研修担当

木村 夏子

①添削講師から、メールが届きます。

届かない場合は、白亜の会まで連絡してください。 (aoyama.hakua@gmail.com)

②研修生から、添削講師に返信します。

まず、自己紹介をしましょう。

- ・学部・学科
- ・受験する自治体、校種、教科等
- ・試験の内容、スケジュールなど
- ・教師を目指す理由なども伝えるとよい。

③論作文をデータで送ります。

手書きの原稿を、Word で打ち換え、データを送ります。

(字数は、受験する自治体の条件に合わせてよい)

※講師から「郵送」の希望があります。

④講師から、添削したものが返ってきます。

指導事項を受けて「書き直す」と力が付きます。

⑤受験日までに、少なくとも3回は添削を受けましょう。

多様な問題例に挑戦すると「書き慣れ」て、自信がつきます。

⑥問題例は、

受験する自治体の過去問、

全体指導で取り上げた問題例(本日配付の資料)

などから、選んで書きます。

※分からないときは、添削講師に相談して選びましょう。

そのほか、勉強の仕方についても相談に応じます。

★「報告・連絡・相談」ほう・れん・そう★

・メールが届いたら、即反応しよう……「返信、ありがとうございます。」※一文でもよい。

「添削していただき、ありがとうございます。」

・現状や予定を連絡しよう……「教育実習中で、なかなか論作文に取り掛かれないでいます。今週末に実習が終わりますので、来週お送りできるよう頑張ります。」

・分からないことは、質問しよう